

1月29日（木）「10年後の私」スピーチ発表（産業社会と人間）



「産業社会と人間」の授業において、「10年後の私」をテーマにしたスピーチ発表を行いました。本活動は、高校生活と20代後半から30歳頃までの将来像を見据え、自分自身の目標を明確にすることで、これからの中学生生活により意欲的に取り組むことを目的としています。

生徒たちは、将来就きたい職業だけでなく、どのような人物になりたいのか、そのために今の自分に足りないものや、高校生活の中で特に力を入れていきたいことについて、自分の思いをまとめ、各ゼミで発表しました。

発表は2分間、原稿を見ずに行い、内容を事前にしっかりと覚えて臨みました。堂々と発表する生徒もいれば、緊張した様子の生徒もいましたが、それぞれが真剣に自分の将来と向き合い、一生懸命に発表する姿が印象的でした。

2月2日（月）「産業社会と人間」探究に向けて



本日の産業社会と人間の授業では、2年次から始まる「総合的な探究の時間」に向けた準備として、担当教員から説明がありました。

岡本先生からは、探究活動が大学入試に活用できる場合もあり、進路につながる学びとして主体的に取り組むことの大切さについて話がありました。また、自身の興味・関心と社会課題が重なるところにテーマを設定すると良いというアドバイスや、論文重視型・フィールドワーク重視型といったゼミの特徴についても紹介されました。

続いて三宅先生からは、2年次の探究活動の具体的な様子について説明があり、調査やアンケートを実施する際には、外部との連絡調整や事前準備など、多くの過程を踏んで進めていく必要があることが伝えられました。

春休みには、自身の興味・関心のある分野を見つけるため、新書を読みレポートを作成する課題に取り組みます。今後の探究活動に向けた大切な準備期間として、生徒一人ひとりが主体的に学びを深めていくことを期待しています。